

令和7年第2回南丹市議会6月定例会

特別委員会中間報告書

議会活性化対策特別委員会中間報告書 (同時選挙について)

《経過》

本委員会は令和6年9月議会で設置され、議会の活性化について多くの議題を議論することとなった。議論の中で、令和6年11月26日開催の第3回委員会時に、委員から市長選挙と市議会議員選挙を同日に実施できないかとの提案があった。

同時選挙となることによりデメリットもあるが、「市民の皆様の関心が高まり投票率が上がる」、「同日に実施することにより経費の削減が図れる」など、メリットが多いとの判断、そして一般質問でも議論された経緯を踏まえ、当初は検討課題ではなかったが、本委員会で議論することとなった。

その後、提案いただいた委員会を含め、全5回委員会を開催し、また選挙管理委員会からの情報提供や資料提供を受けながら委員会として活発な議論が行われたところである。議論としてはメリット、デメリットの検証、その4年後に知事選挙、市長選挙、市議会議員の3つの選挙を同日実施することの検討も含めて議論を行った。

議論の結果として本委員会においては、総合的に判断して、実施に慎重な意見もあったが、次回から市長選挙と市議会議員選挙を同日実施すべきとの結論に至った。

《調査・検討》

令和7年2月18日開催の本委員会において、公職選挙法第34条の2に規定されている、市長選挙と市議会議員選挙を同日に実施できる90日特例を考慮し、令和8年執行の市長選挙、市議会議員選挙を同日実施した場合の具体的なスケジュール資料を選挙管理委員会から受けた。また、同時選挙についてのメリット、デメリットの検討を行った。多くの意見が出されたが、委員だけでなく多様な意見を求めるため、各会派に持ち帰り、意見収集することとなった。

令和7年3月11日開催の本委員会において、各会派からの意見集約、方向性の確認を行った。各会派からは同時選挙について実施に慎重な意見もあったが、概ね肯定的な意見が出された。総合的に判断して、本委員会としては実施する方向で検討することがまとまった。今後、執行に向けた、より具体的なスキームを

確認していくこととなった。

令和7年3月26日開催の本委員会において、同時選挙執行に向けた、より具体的な検討をおこなった。メリット面では経費削減の具体的な金額の他、特に課題について検討を行った。具体的には令和8年3月議会の開催方法や予算審議、補正予算や条例改正についての審議方法、ポスター掲示場の物理的な検討、実際に執行する場合の選挙管理委員会が決定する期限などであった。検討案として令和8年3月定例会議事日程を仮に作成し、委員で検討し確認した。

令和7年6月2日開催の本委員会において、これまでの議論の最終確認を行い、本委員会としては一部実施に慎重な意見はあるものの、市長選挙、市議会議員選挙を同日で実施することが望ましいと結論付け議長に報告、要望することを確認した。

《主な論点》

- ・メリットについては、「市民の皆様に関心が高まり投票率が上がる」、「同日に実施することにより経費の削減が図れる」などであった。また、その4年後には知事選挙とのトリプル同時選挙に向けても検討すべきとの意見があった。一部メリットより一つ一つの選挙を大切にすべきとの意見もあったが、相対的にメリットについては多くの委員の理解があった。
- ・デメリットについて、大きな課題としては、令和8年3月議会の開催方法であった。令和8年3月議会の具体的な議事日程を作成し、予算審議や補正予算、条例改正など理事者からの議案提出の可否、議論の深まりなどを検討した。2月前半に3月定例会を開催し、改選後、3月後半に臨時議会を開催することで対応が可能であると確認できた。また任期が2月18日までであることから約1か月間、議員不在の期間ができることについても議論されたが、平成18年の合併時にも約2か月強の議員不在の期間があったが問題はなかったとの意見が出された。
- ・各委員からメリット、デメリットとの検討がなされ、概ね同時選挙に前向きな意見となった。よって本委員会としては実施する方向で報告するものである。

令和7年6月13日

南丹市議会活性化対策特別委員会